令和元年旭市議会第4回定例会会議録

議事日程（第1号）

令和元年12月3日（火曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
 - 第 2 議長報告事項
 - 第 3 会議録署名議員の指名
 - 第 4 会期の決定
 - 第 5 議案上程
 - 第 6 提案理由の説明並びに政務報告
 - 第 7 議案の補足説明
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
 - 日程第 2 議長報告事項
 - 日程第 3 会議録署名議員の指名
 - 日程第 4 会期の決定
 - 日程第 5 議案上程
 - 日程第 6 提案理由の説明並びに政務報告
 - 日程第 7 議案の補足説明
-

出席議員（17名）

1 番	片 桐 文 夫	2 番	平 山 清 海
3 番	遠 藤 保 明	4 番	林 晴 道
6 番	米 本 弥一郎	8 番	宮 内 保
9 番	高 木 寛	10 番	飯 嶋 正 利
11 番	宮 澤 芳 雄	12 番	伊 藤 保
13 番	島 田 和 雄	15 番	伊 藤 房 代
16 番	向 後 悦 世	17 番	景 山 岩三郎

18番 木内 欽市

19番 佐久間 茂樹

20番 高橋 利彦

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智 忠直	副市長	加瀬 正彦
教育長	諸持 耕太郎	秘書広報課長	山崎 剛成
行政改革 推進課長	井上 保巳	総務課長	伊藤 憲治
企画政策課長	小倉 直志	財政課長	伊藤 義隆
税務課長	石毛 春夫	市民生活課長	遠藤 泰子
環境課長	木内 正樹	保険年金課長	在田 浩治
健康管理課長	遠藤 茂樹	社会福祉課長	仲條 義治
子育て 支援課長	石橋 方一	高齢者 福祉課長	浪川 恭房
商工観光課長	小林 敦巳	農水産課長	宮内 敏之
建設課長	加瀬 博久	都市整備課長	加瀬 宏之
下水道課長	丸山 浩	会計管理者	多田 英子
消防長	川口 和昭	水道課長	宮負 亨
庶務課長	栗田 茂	学校教育課長	加瀬 政吉
生涯学習課長	八木 幹夫	体育振興課長	花澤 義広
監査委員 事務局長	伊藤 義一	農業委員 会長 事務局長	赤谷 浩巳

事務局職員出席者

事務局長	高安 一範	事務局次長	池田 勝紀
------	-------	-------	-------

開会 午前10時 0分

○議長（向後悦世） おはようございます。

ここで、会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解いただきたいと思います。

◎日程第1 開 会

○議長（向後悦世） ただいまの出席議員は17名、議会は成立いたしました。

これより令和元年旭市議会第4回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 議長報告事項

○議長（向後悦世） 日程第2、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了解いただきたいと思います。

◎日程第3 会議録署名議員の指名

○議長（向後悦世） 日程第3、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

17番、景山岩三郎議員、20番、高橋利彦議員、以上の2名を指名いたします。

◎日程第4 会期の決定

○議長（向後悦世） 日程第4、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から12月20日までの18日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から12月20日までの18日間と決定しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

○議長（向後悦世） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第26号までの26議案であります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 配付漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長ほか関係課長の出席を求めました。

◎日程第5 議案上程

○議長（向後悦世） 日程第5、議案上程。

議案第1号から議案第26号までの26議案を一括上程いたします。

議案第 1号 令和元年度旭市一般会計補正予算の議決について

議案第 2号 旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

議案第 3号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

- 議案第 4 号 旭市下水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 議案第 5 号 旭市下水道事業運営協議会条例の制定について
- 議案第 6 号 旭市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定について
- 議案第 7 号 旭市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について
- 議案第 8 号 旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定
について
- 議案第 9 号 旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 10 号 旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 11 号 旭市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 12 号 旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 13 号 旭市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に
ついて
- 議案第 14 号 旭市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
の制定について
- 議案第 15 号 旭市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制
定について
- 議案第 16 号 旭市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 17 号 旭市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 18 号 旭市文書館設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 19 号 旭市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 20 号 旭市下水道財政調整基金条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 21 号 飯岡歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定につい
て
- 議案第 22 号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第 2 期中期目標を定めることについ
て
- 議案第 23 号 市道路線の変更について
- 議案第 24 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 25 号 専決処分の承認について（令和元年度旭市一般会計補正予算）
- 議案第 26 号 専決処分の承認について（令和元年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予
算）

◎日程第6 提案理由の説明並びに政務報告

○議長（向後悦世） 日程第6、提案理由の説明並びに政務報告。

提案理由の説明並びに政務報告を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

（市長 明智忠直 登壇）

○市長（明智忠直） おはようございます。

本日、ここに令和元年旭市議会第4回定例会を招集し、当面する諸案件についてご審議を願うことといたしました。

初めに、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号は、令和元年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,800万円を追加し、予算の総額を310億9,400万円とするものであります。

議案第2号は、旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定についてでありまして、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行による会計年度任用職員制度の創設に伴い、当該職員の給与及び費用弁償について定めるものであります。

議案第3号は、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてでありまして、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例について所要の改正を行うものであります。

議案第4号は、旭市下水道事業の設置等に関する条例の制定についてでありまして、公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴う下水道事業の設置等に関し、必要な事項を定めるものであります。

議案第5号は、旭市下水道事業運営協議会条例の制定についてでありまして、公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、下水道事業に関する市長の諮問機関の設置について定めるものであります。

議案第6号は、旭市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定についてでありまして、処理区域外受益者の接続に伴う分担金の徴収に関し、必要な事項を定めるものであります。

議案第 7 号は、旭市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定についてでありまして、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行による会計年度任用職員制度の創設に伴い、新たに企業職員の給与の種類及び基準を定めるものであります。

議案第 8 号は、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第 9 号は、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、いずれも一般職の職員の給与改正にあわせて所要の改正を行うものであります。

議案第 10 号は、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてでありまして、人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づき、所要の改正を行うものであります。

議案第 11 号は、旭市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 12 号は、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、道の駅イベント広場及び芝生広場の使用料について、所要の改正を行うものであります。

議案第 13 号は、旭市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、干潟保健センターの廃止に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 14 号は、旭市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 15 号は、旭市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第 16 号は、旭市下水道条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、いずれも公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 17 号は、旭市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、干潟公民館の移転に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 18 号は、旭市文書館設置条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、旭市文書館の移転に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 19 号は、旭市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、水道法の一部改正による指定給水装置工事事業者の更新制の導入に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 20 号は、旭市下水道財政調整基金条例を廃止する条例の制定についてでありまして、公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴い下水道財政調整基金を廃止するに当たり、条例を廃止するものであります。

議案第 21 号は、飯岡歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定についてでありまして、飯岡歴史民俗資料館の施設を廃止し、展示資料を移転するため、条例を廃止するものであります。

議案第 22 号は、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第 2 期中期目標を定めることについてでありまして、第 1 期中期目標期間の満了に伴い、経営の指針となる今後 4 年間の中期目標について、議会の議決を求めるものであります。

議案第 23 号は、市道路線の変更についてでありまして、道路整備により 1 路線を変更するに当たり、議会の議決を求めるものであります。

議案第 24 号は、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについてでありまして、現委員のうち、令和 2 年 3 月 31 日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣に推薦するに当たり、議会の意見を求めるものであります。私は、宮本英一氏が適任であり、再度お願いしたいと考え、提案するものであります。

議案第 25 号及び議案第 26 号は、専決処分承認についてでありまして、議案第 25 号は、令和元年度旭市一般会計補正予算について、議案第 26 号は、令和元年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算について、いずれも台風 15 号に伴う災害復旧経費等を専決処分したものであります。

次に、この機会に市政の近況についてご報告いたします。

初めに、台風 15 号による被害状況及び対応について申し上げます。

災害廃棄物の受け入れについては、旭市建設業災害対策協力会にご協力をいただき、9 月 20 日に仁玉スポーツ広場を仮置き場として開設し、現在も引き続き災害廃棄物の処理を進めているところであります。

台風により被害を受けた住宅のうち、一部損壊と判定された住宅への支援制度については、災害救助法に基づく応急修理として市が 30 万円までの修繕工事を実施する制度と、応急修理の対象とならない住宅について、住宅修繕緊急支援事業として工事費の 20%を支援する

制度が新たに創設されました。

11月より修繕相談窓口を開設し、相談及び申請を受け付けているところであります。

農業被害については、農畜産物の被害額が4億4,000万円、農業関連施設の被害額が16億9,800万円で、合計の被害額は21億3,800万円でありました。

被災された農業者の方が一日も早く経営再建できるよう、国の農業災害対策事業による支援を行うための手続きを進めているところであります。

次に、農業について申し上げます。

産業まつりについては、11月10日、海上コミュニティ運動公園で開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、大勢の方にご来場いただき、ステージイベントや、旭が誇る食を生かした農畜水産物をはじめ、商工業製品の展示販売などで楽しんでいただくことができました。

次に、観光について申し上げます。

観光客誘致促進については、10月25日に、都内で大手旅行会社など44団体を集めて開催された千葉県観光商談会において、観光資源の旅行商品化に向けて積極的にプロモーション活動を行ってまいりました。

また、千葉県アンテナショップが11月16日から12月14日まで、都内丸の内の商業施設内において開設されており、本市の魅力を広く発信するため、会場内専用ブースにて特産品の販売や観光のPR活動を行ってまいります。

観光イベントについては、「恋する灯台へ行こう！」キャンペーンとして、10月5日から11月3日まで上永井公園の飯岡灯台を背景に写真を撮影された方々を対象に、特製記念バッジ、絵はがきを配布いたしました。また、海上公民館周辺で毎年行われているスターライトファンタジーに併せて、飯岡灯台においてもライトアップを実施いたします。今後とも、本市を訪れる観光客の誘致促進のための活動を積極的に進めてまいります。

次に、道の駅について申し上げます。

道の駅「季楽里あさひ」については、開業から4年を経過し、売上げも順調に伸びております。10月15日から27日までの間には感謝セールを、また、26日には創業感謝祭を開催し、豚汁や新米おにぎりの無料配布、サンマ焼きやナガラミの販売等を行い、多くのお客様に喜んでいただけたものと思っております。今後とも、東総地区を代表する道の駅として、さまざまなイベントを開催し、施設の目的である情報発信や産業振興に努めてまいります。

次に、社会福祉について申し上げます。

隔年で実施しております旭市戦没者追悼式については、10月17日に東総文化会館において挙行いたしました。ご遺族の皆様方をはじめ、千葉県、近隣市、各種団体の代表者174名のご参列をいただき、戦没者1,864御柱、戦災死没者58御柱、香取航空基地から戦場に飛び立ち帰らぬ人となった戦没者954御柱のみたまに対し、心から哀悼の意をささげました。

次に、子育て支援について申し上げます。

海上保育所園舎改築工事については、外構工事の一部及び基礎工事が完了し、現在は本体工事を実施しております。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

干潟小学校、滝郷小学校、共和小学校及び矢指小学校の屋内運動場の防災機能強化工事については、順調に進捗しており、年内の完成を予定しております。

小・中学校への空調設備設置工事については、9月までに全ての発注予定工事の契約を締結いたしました。工事は順調に進捗しており、年度末の完成を予定しております。

第一中学校、第二中学校及び海上中学校の武道場防災機能強化工事については、来年度の実施を予定しておりましたが、国の学校施設環境改善交付金について、本年度への前倒しでの採択が受けられたことから、工事に関係する補正予算を本定例会に提案したところであります。

次に、生涯学習について申し上げます。

青少年意見発表大会については、11月24日に東総文化会館小ホールにおいて開催いたしました。今年は小学生7名、中学生3名、高校生2名、一般から2名の14名が参加し、集まった大勢の方々に感動を与えるとともに、青少年健全育成に対する理解と関心を深めることができたものと思っております。

次に、文化振興について申し上げます。

あさひのまつりについては、10月6日に東総文化会館において開催いたしました。地域に伝わるおはやしや踊りなどの継承団体、9団体204名による伝統のわがが披露され、会場から盛大な拍手が送られました。

次に、スポーツ振興について申し上げます。

関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会については、10月19日と20日に東総運動場において開催され、関東8都県の厳しい予選会を勝ち抜いた高校1、2年生のトップアスリートによる熱戦が繰り広げられました。

向太陽杯パークゴルフ大会については、10月23日と24日に、あさひ健康パークにおいて開催し、県内外からの参加者に市内選抜選手を加えた総勢149名による交流試合が行われました。大会期間中は、本市の特産品や食材を提供し、食の郷の魅力を発信いたしました。

千葉県高等学校駅伝競走大会については、11月2日に東総運動場において開催され、男女102チームによる熱いレースが繰り広げられました。

今後のイベントとしては、12月15日に旭市民駅伝大会が東総運動場で、また、2月2日には旭市飯岡しおさいマラソン大会が開催されますので、大勢の方々のご声援を願うものであります。

なお、10月13日に東総運動場で予定しておりました旭市民体育祭は、大勢の方々に準備等のご協力をいただきましたが、台風の影響により中止となりました。

次に、交流事業について申し上げます。

幽学の里で米づくり交流事業については、10月5日に収穫祭を開催し、市内外から42家族165名の参加がありました。参加者は干潟八万石のモチ米を使用した餅つき体験をはじめ、芋掘り体験、市の特産品が当たる抽せん会などで交流を深め、最後に収穫したお米を持ち帰っていただきました。

沖縄交流事業については、中城村の児童18名が11月7日と8日に本市を訪れました。初日の歓迎交流会には市内児童20名が参加し、児童の手づくりによる名刺の交換会や子どもみこしによる交流会などが行われました。また、翌日は、鶴巻小学校の全校児童とのふれあい交流会が行われ、お互いの親睦を深めることができました。

次に、市道の整備について申し上げます。

旭中央病院アクセス道の整備については、用地取得が全て完了したことから、事業の早期完成に向け、さらに工事を進めてまいります。

飯岡海上連絡道三川蛇園線の整備については、鉄道横断工事委託におけるJR東日本千葉支社との基本協定を10月に締結したことにより、本工事に着手するための準備が進められているところであります。

次に、千葉県の整備事業について申し上げます。

清滝バイパストンネル工事については、事業完了予定の来年度末の供用に向け、工事が進められているところであります。

海岸基盤整備事業については、河川開口部10か所のうち、昨年度までに2か所の整備が

完了しております。今年度は4か所の整備が完了し、現在工事中の1か所については今年度末に完了する予定となっております。残りの3か所については、今後工事に着手し、来年度末までに完了する予定となっております。

次に、下水道事業について申し上げます。

公共下水道については、平成12年3月に供用を開始し、平成30年度末における供用開始済区域は202ヘクタール、処理区域内人口は6,569人となりました。この間、都市の発達と公衆衛生の向上を念頭に事業に当たってまいりましたが、下水道を取り巻く環境の変化に対応すべく、このたび地方公営企業法を適用することといたしました。これにより現在の特別会計が来年4月より公営企業会計へと移行いたします。なお、これに係る条例を本定例会に提案したところであります。

次に、地域意見交換会について申し上げます。

これまで開催しておりました地区懇談会に代え、初めての試みとして各区の代表の方々に参加をいただき、地域意見交換会を開催いたしました。10月16日には海上公民館、21日は総合体育館サブアリーナで開催し、67区140名の参加をいただきました。参加した方々から30件の意見や提案をいただきましたので、内容を精査し、市政に反映していきたいと考えております。

次に、地域公共交通の利便性向上について申し上げます。

地域公共交通については、再編実施計画に基づき、コミュニティバスのルート、ダイヤの見直し、運賃改定及びデマンド交通の導入について、旭市地域公共交通会議を開催し調査研究を重ねてまいりました。また、10月に開催した地域意見交換会では、各区の代表の方々に対し再編の内容について説明を行ったところであります。コミュニティバスのルート、ダイヤの見直し、運賃改定及びデマンド交通については来年4月の導入に向け準備を進めているところであります。

次に、旭中央病院について申し上げます。

旭中央病院については、平成28年4月から地方独立行政法人に経営形態を変更した後も、地域における基幹病院としての使命を果たしているところであります。

このたび、病院が達成すべき業務運営に関する目標を定めた中期目標が今年度をもって期間満了となることから、旭中央病院評価委員会の意見を反映して、第2期中期目標案を作成いたしました。本定例会に係る議案を提案したところであります。引き続き、旭中央病院が地方独立行政法人としての強みを最大限に発揮し、医療機能の維持向上が図られるよ

う指示してまいります。

次に、新庁舎建設について申し上げます。

建設工事については、建物を支えるくい基礎工事が9月中旬に完了し、10月から着手した地下の掘削工事についても11月下旬に完了したところであります。現在は、地下の基礎コンクリート工事を行っており、引き続き、安全に十分配慮しながら進めてまいります。

また、関連業務として、机、椅子などの什器備品をはじめ、議場のマイクシステムや庁舎内のセキュリティシステムなどについて、機能性等を踏まえながら来年度に向けて準備を進めているところであります。

次に、生涯活躍のまち構想について申し上げます。

本構想については、提案された事業計画の詳細などについて最優秀提案者と検討を重ね、11月18日には旭市生涯活躍のまち推進協議会へ事業計画の最終案を説明し、了承をいただいたところであります。今後、議会への説明を経て、事業者との協定を締結してまいりたいと考えております。

計画予定地については、都市計画用途地域の変更をするための農林漁業との調整に係る協議が調った旨の通知を、9月27日付で千葉県農林水産部長からいただいたところであります。これまで、土地改良事業の受益地からの除外や農振除外、さらには事業者募集など、慎重に検討を重ねてまいりましたが、事業計画が承認され、さらには農林漁業との調整に係る協議が済んだことで大きく前進し、構想が実現できるものと実感しております。

引き続き全力で取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

次に、総合戦略について申し上げます。

総合戦略については、継続を力にするという国の考え方を踏まえ、第2期策定に向け取り組んでいるところであり、その骨子について、旭市総合戦略推進委員会をはじめ、9月30日には議会全員協議会、さらには10月に開催した地域意見交換会で説明させていただき、意見等を伺ったところであります。

現在は、この骨子をさらに具体化させた素案を作成するため、基本目標を達成するための必要な施策について、庁内一丸となって検討を進めているところであります。

今後は、いただいた意見やアンケート結果、これまでの検証を踏まえ素案を作成し、議会へ説明させていただくとともに、パブリックコメントを行い、年度内に本市のまちづくりの最上位計画として策定するための作業を進めてまいります。

次に、国土強靱化地域計画について申し上げます。

国土強靱化地域計画については、第2期旭市総合戦略と一体化して策定するために脆弱性評価を再度実施し、結果の取りまとめを行ってまいります。策定に当たっては専門的見地から意見等をいただくため、内閣官房や県職員、学識経験者や市民代表等で構成された旭市国土強靱化地域計画検討委員会を設置し、検討を進める予定であります。

今後は、脆弱性評価の結果や達成状況等の検証を踏まえて必要な改定を行った上で、検討委員会や議会に対して説明を行い、意見を伺いながら、年度内の策定を目指してまいります。

以上、このたび提案いたしました案件の趣旨をご説明し、併せて市政の近況について申し上げます。

詳しくは事務担当者から説明し、また、質問に応じてお答えいたしますので、ご賛同賜りますよう、お願い申し上げます。

○議長（向後悦世） 提案理由の説明並びに政務報告は終わりました。

◎日程第7 議案の補足説明

○議長（向後悦世） 日程第7、議案の補足説明。

議案の補足説明を求めます。

議案第1号、議案第25号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤義隆 登壇）

○財政課長（伊藤義隆） 議案第1号、令和元年度旭市一般会計補正予算の議決について及び議案第25号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第1号、令和元年度旭市一般会計補正予算の議決について説明させていただきます。

補正予算書の1ページをご覧ください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ8,800万円を追加し、予算の総額を310億9,400万円とするものであります。

第2条の繰越明許費、第3条の債務負担行為の補正、第4条の地方債の補正につきましては、後ほど説明させていただきます。

2ページから4ページにつきましては歳入歳出予算の款項の補正額ですので説明を省略し、内容は事項別明細書で説明させていただきます。

5ページをお願いいたします。

第2表、繰越明許費です。

10款3項中学校大規模改造事業は、市内中学校の武道場防災機能強化工事に係るもので、補助金が前倒しで採択されたことにより、年度内での完成が困難なため設定するものです。

次に、6ページをお願いいたします。

第3表、債務負担行為補正です。

5事業を新たに追加するもので、いずれも台風15号の被災者支援に係る利子補給及び債務保証料補助であります。

1行目につきましては、台風被害を受けた農業者が融資を受けた際の利子に対する補助です。2行目は、台風被害を受けた農業者が融資を受けた際の債務保証料に対する補助です。3行目は、台風被害を受けた漁業者が融資を受けた際の利子に対する補助です。4行目は、台風被害を受けた漁業者が融資を受けた際の債務保証料に対する補助です。一番下につきましては、被災した住宅の補修費等のために融資を受けた際の利子に対する補助です。

7ページをお願いいたします。

第4表、地方債補正です。

初めに、上の表、起債の追加です。中学校大規模改造事業は、中学校の武道場防災機能強化工事に係る起債を追加するもので、限度額は7,070万円です。

下の表は起債の変更です。小学校大規模改造事業は、小学校の屋内運動場防災機能強化に係る減額補正に伴い、起債の限度額を1億3,450万円から7,040万円に減額するものです。

11ページをお願いいたします。

歳入については順を追って説明させていただきますが、事業内容につきましては歳出のところで説明させていただきます。

13款1項1目民生費国庫負担金2,264万4,000円の追加は、3節児童福祉費国庫負担金と、4節生活保護費国庫負担金の増で、それぞれ児童扶養手当と生活保護費の増に伴う国の負担分を計上するものです。

13款2項3目衛生費国庫補助金92万8,000円の追加は、説明欄1、母子保健衛生費補助金の増額で、母子保健情報連携の制度改正に伴う電算システムの改修経費に対する補助金です。

5目教育費国庫補助金 818万9,000円の追加は、2節小学校費国庫補助金で、小学校の屋内運動場防災機能強化工事に係る減額補正に伴い、対象となる学校施設環境改善交付金 2,914万6,000円を減額し、3節中学校費国庫補助金で、中学校の武道場防災機能強化工事に係る学校施設環境改善交付金 3,733万5,000円を追加することによるものです。この増減の差し引きが818万9,000円となります。

14款2項2目民生費県補助金 688万8,000円の追加は、子ども医療対策事業費補助金の増額で、子どもの入院、通院等に要する医療費の助成に対する補助金です。

12ページをお願いいたします。

18款1項1目繰越金 3,588万5,000円の追加は、留保していた前年度繰越金を今回の補正財源として計上するものです。

19款4項1目民生費受託事業収入 39万6,000円の追加は、後期高齢者医療広域連合受託事業収入の増額で、法改正に伴う電算システムの改修経費に係るものです。

19款5項5目雑入 647万円の追加は、地域水産物供給基盤整備事業地元負担分の増額で、県が実施する漁港の機能保全事業に係る海匠漁協や地元市町からの負担金です。

20款1項7目教育債 660万円の追加は、先ほどの第4表の地方債補正で説明いたしましたが、説明欄1の下、中学校大規模改造事業債の増額分 7,070万円から、その上、小学校大規模改造事業債の減額分 6,410万円を差し引いた 660万円を増額するものです。

以上で歳入の説明を終わります。歳出について説明させていただきます。

14ページをお願いいたします。

1款1項1目議会費 30万1,000円の追加は、説明欄1、議会関係職員給与費の増で、人事院及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づく一般職の職員の給与改正に伴う増額です。

なお、以下の各款に計上しております人件費の補正につきましては、特別職も含め、人事院勧告等の趣旨に基づく職員の給与改正と、人事異動等に伴う款ごとの人件費の組み替えですので、説明は省略させていただきます。

同じく14ページの下の方になります。

2款1項8目電子計算費 616万7,000円の追加は、説明欄1、広域情報ネットワーク運用事業で、海上保育所の改築整備に伴い光回線等ネットワークを敷設するための経費を、15ページをお願いいたします、説明欄2、電算システム運用事業で、母子保健情報連携の制度改正に伴うシステム改修費と後期高齢者医療に係る法改正に伴うシステム改修費用を、それぞれ計上するものです。

17 ページをお願いいたします。

下から2段目になります。

3款1項2目障害者福祉費 231万6,000万円の追加は、中度心身障害者（児）医療費助成事業の増で、中度心身障害の方に対する医療扶助費の増によるものです。

19 ページをお願いいたします。

下から2段目になります。

3款3項2目母子父子福祉費 317万2,000円の追加は、児童扶養手当給付事業の増で、ひとり親家庭等の児童を養育する世帯に対する児童扶養手当の増によるものです。

20 ページをお願いいたします。

中段になります。

3款4項2目扶助費 2,878万2,000円の追加は、生活保護扶助費の増で、被保護世帯に対する扶助費のうち医療扶助費及び生活扶助費の増によるものです。

21 ページをお願いいたします。

下から2段目になります。

6款3項3目漁港建設費 924万4,000円の追加は、水産基盤整備事業で、県が実施する漁港の機能保全事業費の増に伴い、海匠漁協や地元市町の負担金の増額分を計上するものです。

23 ページをお願いいたします。

一番下になります。

10款2項1目学校管理費 1億34万4,000円の減額は、干潟小学校及び滝郷小学校の屋内運動場防災機能強化工事に係る事業費です。この事業費につきましては、当初、令和元年度に予定しておりましたが、国の補正予算において前倒しで採択となったことから、平成30年度中に同じ事業を補正予算で措置しておりましたので、今回、当初予算に計上していた分について減額をするものです。

24 ページをお願いいたします。

中段になります。

10款3項1目学校管理費 1億1,068万2,000円の追加は、中学校大規模改造事業で、令和2年度に予定していた第一中学校、第二中学校、海上中学校の武道場防災機能強化工事が、今年度、国の学校施設環境改善交付金事業として採択予定となったことから計上するものです。

27 ページをお願いいたします。

特別職の給与費明細書です。

表の下のほう、比較欄の計をご覧ください。

長等の期末手当 11 万 7,000 円の増は、人事院勧告等の趣旨に基づく一般職の職員の給与改正に合わせて、期末手当の年間支給率を 0.05 月引き上げることによる影響額です。

28 ページをお願いいたします。

一般職（1）総括表です。

比較欄の計をご覧ください。

今回の補正は、人事院勧告等の趣旨に基づく給料及び職員手当等の引き上げ改定と、人事異動等による増減額を見込んだ結果、一般職の合計は 11 万 7,000 円の減となっております。

32 ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。

左側の 1、普通債の（7）教育債の行の左右中ほどをご覧くださいと思います。

起債額を 660 万円増額しておりますが、この内容につきましては、先ほど歳入のところでも説明させていただきましたが、小学校大規模改造事業債の減額と中学校大規模改造事業債の増額の差し引き分であります。これにより令和元年度末現在高見込額は、一番右下になります。297 億 7,585 万 3,000 円となります。

以上で議案第 1 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 25 号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

令和元年度旭市一般会計補正予算第 3 号です。

この補正予算は台風 15 号に係る災害対策として、公共施設の復旧対応や被災者支援に要する経費について 10 月 21 日に専決処分し、本議会において承認を求めるものであります。

1 ページをお願いいたします。

第 1 条は、歳入歳出予算にそれぞれ 7 億 6,800 万円を追加し、予算の総額を 310 億 600 万円としたものであります。第 2 条の地方債補正については、後ほど説明させていただきます。

2 ページと 3 ページは、歳入歳出予算の款項の補正額ですので説明を省略させていただき、内容は事項別明細書で説明させていただきます。

4 ページをお願いいたします。

第 2 表、地方債補正です。

災害復旧事業として、小・中学校の災害復旧費の補助金対象額のうち、市負担分に対する起債を追加するものです。

7ページをお願いいたします。

歳入につきましては順を追って説明させていただきますが、事業内容につきましては歳出のところで説明させていただきます。

13 款 1 項 3 目災害復旧費国庫負担金 910 万 1,000 円の追加は、説明欄 1、公立学校施設災害復旧費負担金の新規計上で、小・中学校の災害復旧に係る費用に対する負担金です。

13 款 2 項 3 目衛生費国庫補助金 2,754 万 6,000 円の追加は、災害廃棄物処理事業費補助金の新規計上で、災害廃棄物の処理等に係る費用に対する補助金です。

4 目土木費国庫補助金 6,846 万円の追加は、社会資本整備総合交付金を増額するもので、台風により一部損壊の被害を受けた住宅の修繕支援事業に対する補助金です。

14 款 2 項 4 目農林水産業費県補助金 2 億 7,500 万円の追加は、農業災害対策支援事業費補助金の新規計上で、被災した農業用施設の再建、修繕の経費に対する補助金です。

8ページをお願いいたします。

14 款 3 項 2 目民生費委託金 9,067 万 9,000 円の追加は、災害救助費委託金の新規計上で、災害救助法に基づく各種事業に対する委託金です。

18 款 1 項 1 目繰越金 2 億 9,271 万 4,000 円の追加は、留保していた前年度繰越金を補正財源として計上いたしました。

20 款市債につきましては、先ほど、第 2 表、地方債補正で説明したとおりでございます。

以上で歳入の説明を終わります。

続きまして、歳出について説明させていただきます。

9ページをお願いいたします。

2 款 1 項 10 目地域振興費 451 万 6,000 円の追加は、説明欄 1、コミュニティ育成事業に災害復旧分を追加するもので、台風被害を受けた各地区の集会所等の施設修繕費を補助するものです。

3 款 5 項 1 目災害救助費 1 億 289 万 5,000 円の追加は、台風による被災住宅の応急修理に係る助成や、市民に配布したブルーシートなどの物資のほか、避難所で使用した災害用毛布のクリーニングに係る費用を計上するものです。

4 款 2 項 1 目塵芥処理費 5,788 万 8,000 円の追加は、災害廃棄物処理事業の新規計上で、災害廃棄物の処分等に係る費用です。

10 ページをお願いいたします。

6 款 1 項 3 目農業振興費 3 億 8,679 万 8,000 円の追加は、農業災害対策支援事業の新規計上で、台風被害を受けたビニールハウス等の農業施設の再建、修繕に要する費用を補助するものです。

11 ページをお願いいたします。

5 目農地費 600 万円の追加は、農業集落排水事業特別会計繰出金の増によるもので、台風被害を受けた農業集落排水施設の復旧費に係る農業集落排水事業特別会計への繰出金です。

8 款 4 項 1 目住宅管理費 1 億 3,692 万円の追加は、被災住宅修繕支援事業の新規計上で、一部損壊の被害を受けた被災住宅の屋根等の修繕に要する費用を補助するものです。

11 款 1 項 1 目民生施設災害復旧費 168 万 5,000 円の増は、説明欄 1、民生施設災害復旧費で、市バス車庫の屋根などの復旧に要する費用を、12 ページをお願いいたします、説明欄 2、民生施設災害復旧費（児童福祉施設分）で、干潟保育所の屋根の復旧に要する費用を、それぞれ計上するものです。

11 款 2 項 2 目農業用施設災害復旧費 38 万 3,000 円の増は、農産物処理加工センターなどの農業用施設の復旧に要する費用を計上するものです。

11 款 3 項 1 目道路橋梁災害復旧費 1,121 万 9,000 円の増は、台風被害を受けたカーブミラー、標識の復旧に要する費用を計上するものです。

2 目公営住宅災害復旧費 187 万円の増は、台風被害を受けた市営住宅や雇用促進住宅の復旧に要する費用を計上するものです。

13 ページをお願いいたします。

11 款 4 項 1 目公立学校施設災害復旧費 3,455 万 2,000 円の増は、説明欄 1、公立学校施設災害復旧費で、台風被害を受けた小・中学校の建物等の復旧に要する費用を計上するもので、その下の 2、公立学校設備災害復旧費で小学校の百葉箱の復旧に要する費用をそれぞれ計上するものです。

2 目社会教育施設災害復旧費 585 万 6,000 円の増は、大原幽学遺跡史跡公園の建物等の復旧に要する費用を計上するものです。

3 目保健体育施設災害復旧費 14 万 9,000 円の増は、第 2 給食センターの施設等の復旧に要する費用を計上するものです。

14 ページをお願いいたします。

11 款 5 項 1 目その他公共・公用施設災害復旧費 1,726 万 9,000 円の増は、説明欄 1、庁

舎等災害復旧費で、市庁舎の災害復旧に要する費用を、2、商工観光施設災害復旧費で、街路灯や長熊釣堀センター等の観光施設の復旧に要する費用を、3、消防施設災害復旧費で、台風被害を受けた消防庫、消防車両の復旧に要する費用を、4、防災施設災害復旧費で、避難施設のソーラー照明等の防災施設の復旧に要する費用を、それぞれ計上するものです。

15 ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。

左側の2、災害復旧費の(3)教育の行の左右中ほどをご覧ください。

起債額を450万円増額しておりますが、この内容につきましては第2表の地方債補正でも説明させていただきましたが、小・中学校の災害復旧費に係る補助金対象額のうち、市負担分に対する起債です。

以上で議案第25号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中でありますが、ここで11時10分まで休憩いたします。

休憩 午前10時58分

再開 午前11時10分

○議長（向後悦世） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案の補足説明を求めます。

議案第2号、議案第3号と議案第8号から議案第11号までの6議案について、総務課長、登壇してください。

（総務課長 伊藤憲治 登壇）

○総務課長（伊藤憲治） 議案第2号及び第3号並びに議案第8号から第11号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第2号、旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、非常勤職員の適正な任用、勤務条件の確保を目的として、新たな一般職の非常勤職員制度である会計年度任用職員制度が令和2年4月1日から施行されることに伴い制

定するものであります。条例に規定する内容につきましては、会計年度任用職員に対する給与及び支給方法等となっております。

主な内容を、条文を追って説明いたします。

初めに、第2条をご覧ください。

会計年度任用職員に支給する給与について規定しております。給料のほか、通勤手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、夜間勤務手当、休日勤務手当、宿日直手当、期末手当を支給します。なお、常勤職員に支給している扶養手当、住居手当、管理職手当、勤勉手当は支給の対象とはなりません。

次に、第3条をご覧ください。

フルタイムで勤務する会計年度任用職員の給料額の上限を、行政職給料表の2級までとすることを規定しております。

次に、第4条から第12条までは、フルタイム会計年度任用職員の号給の決定、給料の支給日、通勤手当や時間外勤務手当などの支給方法等について規定しております。

次に、第13条をご覧ください。

フルタイム会計年度任用職員に対する期末手当に関し規定するもので、任期の定めが原則6か月以上の職員に対し支給することとしております。

次に、第16条をご覧ください。

本条から第27条までは、パートタイム、いわゆる短時間勤務の会計年度任用職員に対する給料や手当に相当する報酬、期末手当、費用弁償としての旅費の支給方法等について規定しております。

なお、パートタイム会計年度任用職員に対する期末手当についても、第22条において、任期の定めが原則6か月以上の職員に対し支給することとしております。

最後に、第31条は委任規定で、条例の施行に関し必要な事項は、規則で定めることとしております。

なお、条例の施行日は、令和2年4月1日とするものです。

以上で議案第2号の補足説明を終わります。

続いて、議案第3号、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、関係する本市の条例を一括して改正するものであり、改正の趣旨は、議案第2号同様、会計年度任用職員制度の創設に

よるものであります。

改正内容は新旧対照表で説明いたします。

それでは、新旧対照表の1ページをお願いいたします。

本条例の第1条は、旭市職員定数条例の一部改正で、当該条例の第2条の改正として、令和2年度以降は、臨時的任用職員が常勤職員と同様に定数として扱われることとなるため、文言を削除するものです。

次に、新旧対照表の2ページをお願いいたします。

本条例の第2条は、旭市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正で、当該条例の第3条の改正として、フルタイム会計年度任用職員を公表の対象とする旨の規定を加えるものです。

次に、新旧対照表の3ページをお願いいたします。

本条例の第3条は、旭市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正で、当該条例の第3条第4項及び第4条第3項の改正として、会計年度任用職員が休職となった場合の休職期間及び給与の取り扱いについての規定を加えるものです。

次に、新旧対照表の4ページをお願いいたします。

本条例の第4条は、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正で、当該条例の第2条第2項第3号の改正として、地方公務員法中の規定の削除に伴い、引用規定の改正を行うものです。

次に、新旧対照表の5ページをお願いいたします。

本条例の第5条は、旭市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正で、当該条例の第3条の改正として、パートタイム会計年度任用職員が減給処分を受けた場合に、給料に相当する報酬を減額する旨の規定を加えるものです。

次に、新旧対照表の6ページをお願いいたします。

本条例の第6条は、旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正で、当該条例の第19条の改正として、地方公務員法の改正により現行の臨時職員の制度がなくなるため、臨時職員に係る規定を削除するものです。

次に、新旧対照表の7ページをお願いいたします。

本条例の第7条は、旭市職員の育児休業等に関する条例の一部改正です。当該条例の改正内容は多岐にわたりますが、改正の趣旨としては、非常勤職員が育児休業を取得することが可能となる旨の改正であり、育児休業の取得要件や取得期間等を規定するものです。

次に、少し飛びまして、新旧対照表の 17 ページをお願いいたします。

本条例の第 8 条は、旭市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正です。主な改正は、別表第 1 に定める非常勤の職員の削除となりますが、特別職非常勤職員から、会計年度任用職員へ移行する職、廃止する職、非公務員へ移行する職等の整理を行うものです。

次に、議案第 3 号に戻っていただきまして、7 ページをお願いいたします。今回提案している議案第 3 号のものです。

7 ページの下から 4 行目です。

第 9 条は、旭市交通安全指導員設置条例を廃止する規定で、交通安全指導員の任用形態が特別職非常勤職員から非公務員となるため、条例を廃止するものです。

以上で議案第 3 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 8 号から第 10 号までは、人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づく給料及び手当の改正でありまして、関連しておりますので、一括して補足説明を申し上げます。

まず、議案第 8 号、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明いたします。

新旧対照表の 22 ページをお願いいたします。

改正条例の第 1 条関係です。

第 5 条の期末手当を改正するもので、令和元年 12 月期の期末手当の支給率を現行の 100 分の 222.5 から 100 分の 227.5 に改め、100 分の 5 引き上げ、年間支給率を 100 分の 445 から 100 分の 450 とするものです。

次に、23 ページをお願いいたします。

改正条例の第 2 条関係です。

第 2 条関係はただいまの第 1 条関係と同じく、第 5 条の期末手当の支給率の改正でありまして、令和 2 年度以降の期末手当の支給率を、6 月期及び 12 月期ともに 100 分の 225 に改め、年間支給率を 100 分の 450 とするものです。

なお、条例の施行期日は、令和元年度分を規定する第 1 条関係については公布の日とし、令和 2 年度以降を規定する第 2 条関係については、令和 2 年 4 月 1 日とするものです。

次に、24 ページと 25 ページをお願いいたします。

議案第 9 号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定につつま

しては、ただいまの議案第 8 号と同様に期末手当の支給率を改正するもので、改正内容も議案第 8 号と同様のものとなります。

続きまして、議案第 10 号、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について説明いたします。

新旧対照表の 26 ページをお願いいたします。

改正条例の第 1 条関係です。

第 24 条第 1 項、それと次の 27 ページの第 25 条第 2 号、28 ページの第 31 条第 6 項の改正につきましては、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行によるもので、地方公務員法の規定において、一般職の職員となり、または競争試験もしくは選考を受けることができない者を定めた欠格事由から、「成年被後見人又は被保佐人」が削られたことに伴い、本条例中の関係条文の整理を行うものです。

次に、28 ページの上のほう（1）、これは第 27 条第 2 項における勤勉手当の支給率の改正でありまして、令和元年 12 月期の勤勉手当の支給率を 100 分の 92.5 から 100 分の 97.5 とし、100 分の 5 引き上げるものです。これにより、一般職の期末手当の年間支給率は 100 分の 445 から 100 分の 450 となります。

次に、29 ページから 39 ページにかけての別表第 1 の給料表につきましては、千葉県と同様に改定するもので、民間給与との格差を埋めるため、初任給及び若年層の給料月額を引き上げを行うものです。行政職給料表全体の平均改定率は 0.2% で、これにより、高卒初任給は 1,900 円、大卒初任給は 1,500 円の引き上げとなります。

次に、新旧対照表の 40 ページをお願いいたします。

改正条例の第 2 条関係です。

中段の 13 条は、住居手当について、人事院勧告に基づき、支給対象となる家賃額の下限を 4,000 円引き上げ、これにより生ずる原資を用いて最高支給限度額を 1,000 円引き上げるものです。

次に 41 ページの第 27 条第 2 項の改正は、令和 2 年度以降の勤勉手当の支給率の改正でありまして、年間の支給率は変わりませんが、6 月期、12 月期とも、100 分の 97.5 を 100 分の 95 に改めるものです。

次に、42 ページをお願いいたします。

改正条例の第 3 条関係で、一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正でありま

す。

第7条の特定任期付職員とは、弁護士等の高度の専門的な知識経験を有する職員でありまして、現在、本市においてはこのような任期付職員は採用しておりませんが、千葉県と同様の条例を制定しておりますので、同額の改正を行うものです。

次に、44ページをお願いいたします。

改正条例の第4条関係ですが、ただいま申し上げました第3条関係と同様、特定任期付職員に対する規定でありまして、これについても千葉県と同様の改正を行うものです。

最後に、施行期日につきましては、勤勉手当は議案第8号、第9号と同様であり、給料月額については公布の日から施行し、平成31年4月1日に遡及して適用いたします。

また、住居手当については令和2年4月1日から施行し、これに伴い手当額が2,000円を超える減額となる職員については、1年間、所要の経過措置を講ずるものとします。

以上で、議案第8号、第9号及び第10号の補足説明を終わります。

続いて、議案第11号、旭市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の46ページをお願いいたします。

第2条第1号の改正は、公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、本条例中に規定する職員の定義を改めるものです。

第15条第2項の改正は、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い改正するものですが、改正の趣旨につきましては、地方公務員法第16条において、一般職の職員となり、または競争試験もしくは選考を受けることができない者を定めた欠格事由から、「成年被後見人又は被保佐人」が削られたことに伴い、本条例中の引用条文の整理を行うものです。

以上で議案第11号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 総務課長の補足説明は終わりました。

議案第4号から議案第6号までと、議案第15号、議案第16号、議案第20号の6議案について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 丸山 浩 登壇）

○下水道課長（丸山 浩） 議案第4号、第5号、第6号、第15号、第16号及び第20号について、各議案の補足説明の前に、下水道事業への地方公営企業法適用の経緯について申し上げます。

急速な人口減少社会に入り、下水道を取り巻く経営環境が厳しさを増す一方で、公共インフラとして整備された下水道施設は、今後、全国的に更新の時期を迎えることになります。このような状況の中、国は各事業者が安定した住民サービスを提供していくためには、公営企業会計を適用し、自らの経営や資産を正確に把握した上で、計画的な経営管理等に取り組む必要があるとの考えを示しました。

具体的には、平成 27 年 1 月 27 日付総務大臣通知等において、地方公営企業法を適用していない下水道事業等を重点事業に位置づけるとともに、平成 31 年度までの 5 年間で集中取り組み期間として定め、平成 32 年度、こちらにつきましては元号が変わりましたので、令和 2 年度から公営企業会計へ移行することが求められました。

これを受けまして、本市におきましても公共下水道事業と農業集落排水事業に地方公営企業法を適用いたしたく、準備を進めております。

以上、簡単ですが説明とさせていただきます。

続きまして、各議案についてご説明を申し上げます。

初めに、議案第 4 号、旭市下水道事業の設置等に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、地方公営企業法の規定により、公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用するとともに、現在、農水産課で所管しております農業集落排水事業を下水道課へ移管するものでございます。

なお、地方公営企業法の適用と農業集落排水事業の移管時期につきましては、ともに令和 2 年 4 月を予定しております。

条例の概要につきましては 1 ページをお開きください。

第 1 条では、公営企業としての事業の設置について定めております。

第 2 条では、経営の基本に関する事項について定めております。なお、第 2 項の事業規模は、下水道の事業計画に掲げたものとなっております。

第 3 条では、地方公営企業法の全部を適用することについて定めております。

第 4 条では、管理者を置かないことと、事務処理を下水道課で行うことについて定めております。

第 5 条では、重要な資産の取得及び処分について定めております。

2 ページをお開きください。

第 6 条では、議会の同意を要する職員の賠償責任の免除について定めております。

第7条では、議会の議決を要する負担つきの寄附等について定めております。

第8条では、下水道事業の業務の状況を説明する書類の作成と公表について定めております。

また、附則において、施行期日を令和2年4月1日とするとともに、旭市下水道事業特別会計条例並びに旭市農業集落排水事業特別会計条例の廃止及び所要の改正等を行うものがございます。

以上で議案第4号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第5号、旭市下水道事業運営協議会条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、地方自治法第138条の4第3項の規定により、下水道事業の運営協議会を設置するものです。

条例の概要につきましては、1ページをお開きください。

第1条では、協議会の設置について定めております。

第2条では、公共下水道事業及び農業集落排水事業を下水道事業と定めております。

第3条では、協議会の所掌事務について定めております。

第4条では、委員の数、区分、任期等について定めております。

第5条では、会長、副会長の選出及びその職務等について定めております。

2ページをお開きください。

第6条では、協議会の会議の招集及び議事の決定等について定めております。

第7条では、協議会の委員以外の方に対する意見の聴取について定めております。

第8条から第9条では、協議会の庶務及び委任について定めております。

なお、下水道事業運営協議会においては、公営企業会計として初めてとなる令和2年度の当初予算についてご意見をいただきたく、附則において、施行期日を令和2年1月1日としております。また、旭市公共下水道事業審議会条例の廃止及び所要の改正を行うものです。

以上で議案第5号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第6号、旭市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、下水道法第24条第1項の規定により、公共下水道の処理区域外からの流入をする土地の所有者等を受益者として、地方自治法第224条の規定による分担金の徴収に関

し必要な事項を定めるものです。

条例の概要につきましては、1ページをお開きください。

第1条では、本条例の趣旨について定めております。

第2条では、条例における用語の意義について定めております。

第3条では、分担金の額について定めております。

第4条では、賦課及び徴収の方法について定めております。

第5条では、分担金の減免等について定めております。

2ページをお開きください。

第6条では、受益者に変更があった場合の取り扱い等について定めております。

第7条から第9条までは、過誤納金、延滞金及び委任について定めております。

以上で議案第6号の補足説明を終わります。

次に、議案第15号、旭市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うものであります。改正の内容につきましては、新旧対照表の52ページをお開きください。

いずれの改正も、旭市都市計画下水道事業受益者負担金の徴収に関し、必要な事項を定めた規則を廃止し、規程に改めるものです。

以上で議案第15号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第16号、旭市下水道条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うものであります。

改正の内容につきましては、新旧対照表の53ページから58ページをご覧ください。

いずれの改正も、下水道事業の利用手続き等に関し、必要な事項を定めた規則を廃止し、規程に改めるものでございます。

以上で議案第16号の補足説明を終わります。

次に、議案第20号、旭市下水道財政調整基金条例を廃止する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本条例は、公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、旭市下水道財政調整基金条例を廃止するものでございます。

以上で議案第 20 号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第 7 号、議案第 19 号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 宮負 亨 登壇）

○水道課長（宮負 亨） それでは、議案第 7 号及び議案第 19 号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第 7 号、旭市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について申し上げます。

本議案は、地方公務員法及び地方自治法の一部改正による会計年度任用職員制度の創設と併せ、令和 2 年 4 月から下水道事業の公営企業への移行に備えるため、新たに条例を制定するものでございます。

条例の内容につきましては、従前の旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例を基にして所要の改正を行った上で、下水道事業も包括した条例とするため、条例の名称は、水道事業の部分を削除し、旭市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例とするものでございます。また、一般職の給与条例等と合わせるため、再任用職員や育児短時間勤務代替職員ほか、災害派遣手当に関する規程等の追加などの変更も一部行うものでございます。

それでは、従前の旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例からの主な改正点についてご説明申し上げます。

1 ページをご覧ください。

まず、第 1 条は、本条例の趣旨を規定したもので、2 行目、従来、旭市水道事業企業職員としていたものを、旭市企業職員と変更するものでございます。

第 2 条は、給与の種類でございますが、第 1 項で対象となる職員について、従来、水道事業企業職員としていたものを企業職員に変更するほか、会計年度任用職員等を追加するものでございます。

「地方公務員法」以降が今回追加する部分でございますが、「第 22 条の 2 第 1 項の規定により採用された職員」が会計年度任用職員で、今回の会計年度任用職員制度の創設に伴い追加するもの。以降の「同法第 28 条の 5 第 1 項又は同条の 6 第 2 項の規定により採用された職員」は再任用短時間勤務職員、「地方公務員の育児休業等に関する法律第 18 条第 1 項の規定により採用された職員」は育児短時間勤務代替職員になりますが、これらは一般

職の例に合わせるため追加するものでございます。

続きまして、第2条第3項は手当の種類でございますが、一般職の給与条例と合わせて記載の順序を改めたほか、初任給調整手当を削除し、3行目の災害派遣手当を追加するものでございます。

続きまして、少し飛びますが、5ページをお願いいたします。

第20条は、従前の非常勤勤務職員の給与に関する規定を削除し、第1項で会計年度任用職員の手当にかかわる適用除外について、旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例と合わせるため、第2項は再任用職員、再任用短時間勤務職員及び育児短時間勤務代替職員の手当にかかわる適用除外について、旭市一般職の職員の給与に関する条例に合わせるため、それぞれ規程を設けるものでございます。

次に、6ページをお願いいたします。

附則第1項でございますが、この条例の施行日を令和2年4月1日とするものでございます。

附則第2項は、経過措置として、施行日前、施行日以後の条例の適用区分を定めるものでございます。

附則第3項は、旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の廃止について規定するものでございます。

以上で議案第7号の補足説明を終わりにさせていただきます。

続きまして、議案第19号、旭市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

今回の改正は、水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者、いわゆる指定工事店の指定の更新制度が新たに導入されましたので、所要の改正を行うものでございます。

指定給水装置工事事業者の指定の更新制度につきましては、従来、指定有効期限は無期限でしたが、実態把握及び質の維持、向上を目的として、5年ごとに更新が必要となったことに伴い、更新手数料を定めるものでございます。

また、併せて、水道法施行令の一部改正に伴い、給水装置の構造及び材質の基準を定めた条文が第5条から第6条へ繰り下がることにより、所要の改正をするものでございます。

恐れ入りますが、新旧対照表の62ページをお願いいたします。後ろから2枚目になります。

まず、対照表の左側、現行の給水装置の基準違反に対する措置について、第34条第1項

中、水道法施行令、現行が5条を、第6条に改正するものでございます。

続きまして、右側の改正案でございますが、別表第2（条例第30条関係）でございますが、別表の一番下に更新手数料を新たに追加するものでございます。

左の欄の第25条の3の2第1項の、指定の更新を受けようとする者とは、水道法による指定給水装置工事事業者の更新を受けようとするものでございます。

右の欄の、指定給水装置工事事業者指定更新手数料1件につき1万円は、現在の新規指定手数料が1万2,000円であることや、国から示された算定例、また、近隣事業体の状況等を鑑みまして、1万円と定めるものでございます。

なお、条例の施行日については、令和2年1月1日とするものでございます。

以上で議案第19号の補足説明を終わりにさせていただきます。

○議長（向後悦世） 水道課長の補足説明は終わりました。

議案第12号、議案第22号について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 小倉直志 登壇）

○企画政策課長（小倉直志） それでは、議案第12号及び第22号について補足説明を申し上げます。

最初に、議案第12号、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明申し上げます。

道の駅のイベント広場及び芝生広場の使用料について、その金額をテナントスペースの使用料に準じた算定方法に改めるものであります。

恐れ入りますが、新旧対照表の47ページをご覧ください。

別表第1その1のうち、旭市道の駅の項、旭市道の駅使用料の目、単位の欄中に、1日当たりを加えまして、同目金額の欄の中で、これまで、販売額に100分の30を乗じて得た額としていたものを、使用面積1平方メートル当たり500円及び販売額に100分の5を乗じて得た額の合計額に改めるものでございます。

改正後の条例は、令和2年4月1日からの施行としております。

続きまして、議案第22号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第2期中期目標を定めることについて、補足説明申し上げます。

中期目標につきましては、地方独立行政法人法第25条第2項に具体的に定める事項が示されております。今回は、現目標から変更した項目を中心に説明をさせていただきます。

1ページをお開きください。

前文になります。

旭中央病院が、地方独立行政法人へ経営形態を変更した後も地域の基幹病院として果たしてきた役割について、また、市が求める病院運営の基本方針を示すための中期目標であることを述べています。

次に、項目の第1、中期目標の期間ですが、令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間となります。

次に、第2、地域住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項です。

2ページになります。

1、診療機能の充実のうち、ページの中段にございます(4)5疾病に対する医療水準の向上では、特にがんに関して、旭中央病院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けていることから、診療内容のさらなる充実に努めるよう指示するものです。

(6)高齢者医療の取組みでは、新たに高齢化に伴い増加が懸念される循環器疾患等についても、その診療内容のさらなる充実に努めるよう指示するものです。

3ページをお願いします。

(9)QI分析等による医療の質の向上は新たな項目ですが、医療の質の数値化、分析などにより医療の質の向上に努めるよう指示するものです。

次に、2、患者等のサービスの向上です。

患者サービス、接遇の向上を努めるほか、利便サービスの向上については病院周辺駐車場を含むと具体的に指示するものです。

次に、3、市の施策推進における役割の発揮です。

(2)といたしまして、市の施策への連携・協力では、アの介護、福祉の提供に関する記述のほか、イとして予防医療への取り組みを追加するものです。そして(3)ですけれども、「旭市生涯活躍のまち」への連携・協力ですが、新たに項目として掲げるものです。

次に、第3、業務運営の改善及び効率化に関する事項です。

1、ガバナンスとコンプライアンスは、項目としては新たに設けたものですが、内容としては、現目標に記述されているものに一部追加したのになります。

(1)といたしまして、組織マネジメントの充実、法人としての運営体制は確立してきたことから、さらなる充実、強化への取り組みを求めるものです。

4ページをお願いします。

(3)の内部統制の充実、新たな項目ですけれども、業務の適正を確保するための体制

を整備するよう指示するものです。

次に、2、働き方改革と人材確保です。

こちらも項目は新しいものですが、内容は現目標を引き継いでいるものです。

(1) 働き方改革と就業環境の充実では、働き方改革関連法の遵守と、職員のワークライフバランスに配慮した環境整備に努めるよう指示するものです。

(2) 職員の確保では、引き続き、医師等の確保、育成に努めるほか、オとしまして、少子高齢化対策を新たに追加し、将来、若者の労働者数の減少が懸念されることから、業務の自動化や人工知能の活用などの検討を求めるものです。

5 ページをお願いします。

3、効率的・効果的な業務運営です。

(3) 計画的な設備投資は新たな項目で、収支の見通しを立てた上で計画的な設備投資と実施後の効果検証を指示するものです。

以上で議案第 22 号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 議案の補足説明は途中ですが、昼食のため、午後 1 時まで休憩いたします。

休憩 午前 11 時 58 分

再開 午後 1 時 0 分

○議長（向後悦世） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案の補足説明を求めます。

議案第 13 号について、健康管理課長、登壇してください。

（健康管理課長 遠藤茂樹 登壇）

○健康管理課長（遠藤茂樹） 議案第 13 号、旭市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

干潟保健センターは干潟支所内に現在併設しておりますが、現在、健診会場の利用のみに限定されておりました。今回、干潟支所への干潟公民館機能の移転に併せまして廃止をするものでございます。

恐れ入りますけれども、新旧対照表の 49 ページのほうをご覧いただきたいと思います。

第 2 条の保健センターの名称及び位置の表から、旭市干潟保健センターの項を削除するも

のでございます。

以上で議案第 13 号の補足説明を終わりにさせていただきます。

○議長（向後悦世） 健康管理課長の補足説明は終わりました。

議案第 14 号、議案第 26 号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 宮内敏之 登壇）

○農水産課長（宮内敏之） 議案第 14 号及び議案第 26 号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第 14 号、旭市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明をさせていただきます。

議案第 4 号で下水道課長より補足説明がありました農業集落排水事業の公営企業法の全部を令和 2 年 4 月 1 日より適用いたしたく、所要の改正を行うものであります。

それでは、恐れ入りますが、新旧対照表の 50 ページをご覧ください。

主な改正点をご説明申し上げます。

第 8 条第 2 号の改正規定は、規則が廃止となり規程となるため改めるものです。

第 9 条の改正規定は、規程で定める定義であることを加えるものであります。

第 11 条の改正規定は、下水道事業に農業集落排水事業が入ることに伴い、工事の実施に関する定義を下水道条例の規程に改めるものです。

第 12 条と第 13 条第 1 項の改正規定は、第 9 条同様、規程で定める定義であることを加えるものであります。

この条例の施行期日は令和 2 年 4 月 1 日でございます。

以上で議案第 14 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 26 号、専決処分の承認について、補足説明をさせていただきます。

令和元年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算第 2 号になります。

この補正予算は、台風 15 号に係る災害対応として、江ヶ崎地区排水施設を補修する経費について 10 月 21 日に専決処分し、本会議において承認を求めるものであります。

それでは、補正予算書の 1 ページをお願いいたします。

第 1 条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 600 万円を追加し、予算の総額を 7,900 万円とするものでございます。

少し飛びますが、続いて、7 ページをお願いいたします。

歳入についてご説明いたします。

4 款 1 項 1 目一般会計繰入金は、説明欄 1 の一般会計からの繰入金 600 万円を増額し、

4,129万6,000円とするものでございます。

8ページをお願いいたします。

歳出になります。

2款1項1目維持管理費は、説明欄1の江ヶ崎地区排水施設維持管理費の11節需用費のうち、維持補修費600万円を増額するものでございます。

内容といたしましては、江ヶ崎地区排水処理施設の江ヶ崎山屋敷地先にありますマンホールポンプの制御盤など電気設備が台風15号の風雨により被災したため、復旧に要する費用を計上するものでございます。

以上で議案第26号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第17号、議案第18号、議案第21号について、生涯学習課長、登壇してください。

（生涯学習課長 八木幹夫 登壇）

○生涯学習課長（八木幹夫） 議案第17号、議案第18号及び議案第21号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第17号、旭市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。

本議案は、干潟公民館の機能を現在改修中の干潟支所に移転するため、公民館の位置を旭市南堀之内22番地1から、旭市南堀之内10番地に改めるものであります。また、附則の旭市使用料及び手数料に関する条例の一部改正は、改修後の干潟公民館の使用料を定めるものであります。

なお、条例の施行日につきましては、令和2年4月1日とするものでございます。

次に、議案第18号、旭市文書館設置条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は旭市文書館の機能移転に伴い、文書館の位置を旭市口の729番地から、旭市南堀之内10番地に改めるものであります。

本条例の施行日につきましても、令和2年4月1日とするものでございます。

次に、議案第21号、飯岡歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

飯岡歴史民俗資料館は、現在、郷土に関する資料の収集や保存、展示を行っている施設でございますが、市内の文化財を現在改修中の干潟支所へ集約し収蔵することにより、本資

料館はその機能がなくなること、また、施設本体も老朽化が著しいことから、施設を廃止するために、施設の設置を定めております本条例を廃止するものでございます。

また、附則は、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の別表第1中に規定している歴史民俗資料館運営協議会委員の項を削るものでございます。

本条例の施行日につきましても、令和2年4月1日とするものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第23号について、建設課長、登壇してください。

（建設課長 加瀬博久 登壇）

○建設課長（加瀬博久） 議案第23号、市道路線の変更について、補足説明を申し上げます。

本件につきましては、旭市琴田字二十間地先から江ヶ崎字何仕様田地先の道路整備に伴う1路線の認定区間を延伸するに当たり、議会の議決を求めるものであります。

以上で議案第23号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 建設課長の補足説明は終わりました。

議案第24号について、市民生活課長、登壇してください。

（市民生活課長 遠藤泰子 登壇）

○市民生活課長（遠藤泰子） 議案第24号について補足説明を申し上げます。

本議案は、人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会の意見を求めるものです。

本市の人権擁護委員の定数は10名ですが、このうち1名が令和2年3月31日に任期満了となりますので、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するに当たり、議会の意見を求めるものです。

推薦したい方は、旭市下永井780番地にお住まいの宮本英一氏、昭和23年11月29日生まれの方です。

宮本英一氏は、平成23年から人権擁護委員として積極的に活動され、温厚誠実な人柄で地域での信望も大変厚く、委員として適任の方ですので、引き続き推薦するものです。

なお、人権擁護委員法第7条第1項の規定による委員の欠格条項につきましては、該当する事項はありません。

また、委員の任期は、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間となります。

以上で議案第24号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 市民生活課長の補足説明は終わりました。

以上で議案の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、次回は12月6日定刻より会議を開きます。

大変ご苦勞さまでございました。

散会 午後 1時14分